

NO.22 シリーズ講座～産業・組織心理臨床基礎研修(1) (全7回)

産業・組織心理臨床の多様性

1. シリーズ講座の目的

このシリーズ講座は、産業・組織心理臨床の初学者またはこれから産業・組織心理臨床へ参入を希望する方を対象とした基礎的な研修会です。

産業領域のフィールドは、企業組織だけではなく、地方自治体・警察・団体組織などをも対象とするようになりました。また臨床心理士が組織に関わる必要性はどの領域でもあるのですが、産業領域においては、特に強くそれが求められます。

この講座の主な目的は、以下のようになります。

- 1 産業・組織領域での臨床心理士が、閉鎖的な心理主義に陥らないように、様々な他領域の視点から幅広く学ぶ
- 2 他領域・他職種との連携で成り立ち、いきいきと活性化する産業・組織心理臨床を目指す
- 3 産業・組織心理臨床において、組織に関わるスタンスの重要性を実践的に理解する。

2. 今回の講座の内容等：

あなたの日常の臨床心理実践を、より意識化・「見える化」して、より効率的・効果的なものに変えていく、さらにそれを組織上層部・他職種、同僚・後進に伝達可能な形に仕上げていく方法を検討します。そのためには、毎日の記録の取り方、それを分析・考察し、それを他者に伝達可能な概念やモデルに仕上げる方法が必要です。ここでは、アクション・サーチと修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-G T A) を使って、日々の個人臨床や組織臨床を、「見える化」し、今後蓄積可能な知識に仕上げる手続きを模索します。また、アクション・リサーチを用いた筆者の企業のメンタルヘルス体制作りの組織臨床実践例を報告します。

また実習としては、例えばあなたが、ある中小企業でメンタルヘルス体制作りを計画した時、人事課長から「メンタルヘルス体制作りは社員を甘やかし、競争力を低下させる」と言われたとします。あなたはその人事課長の発言とその背景にある組織ダイナミックスをどのようにアセスメントし、どのように人事課長やその組織に関わりますか。この実習は、小人数によるディスカッションを中心に進行させていきます。

学校や病院・施設、企業などにお勤めの皆さん、そして組織は少し苦手と感じておられる多くの皆さん、ぜひ、ご参加ください。

3. 講師： 新田 泰生 (神奈川大学大学院臨床心理学研究領域)

4. 日時 平成 27 年 7 月 19 日 (日曜日) 10:30~16:30 (10:15 開場)

5. 会場 文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 202 号室 (財) 日本心理研修センター研修室

6. 参加費 会員・院生 6,000 円、非会員 7,000 円
<全7回一括申し込みの方：1回分無料となります>

7. 募集対象・人数 産業・組織心理臨床で働くことを希望する臨床心理士/大学院生
定員 50 名

シリーズ全体の構成・テーマ・講師等については、研修スケジュールの本講座（NO.22）の前の欄に表示しておりますのでご参照ください。

8. 研修ポイント 1回につき2ポイントを申請する。

9. 申込方法：①および②をお願いします。

①週日 10:00～17:00 に電話で空席の有無をご確認の上、予約してください。TEL：03-3817-6801 事務局

②郵便局の振り込み用紙に、以下の各項目を全て記載して、参加費を振り込んでください。

(なお、キャンセルはできませんのでご了承ください。)

- シリーズ講座「産業・組織心理臨床基礎研修」（講座番号、当日講義テーマ、開催日）
- ご氏名・臨床心理士番号・連絡先電話番号・ご所属
- 口座番号 00110-7-413679
- 口座名称 一般社団法人日本臨床心理士会

9. 会場及び事務局へのアクセス



会場は、太陽館ビル 202

尚、一般社団法人 日本臨床心理士会事務局は
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 401
メール：office@jsccp.jp
電話：03-3817-6801 FAX：03-3817-6802

交通機関

1. 「丸の内線」(東京メトロ) 『本郷三丁目』 駅出口から徒歩 1 分
2. 「大江戸線」(都営地下鉄) 『本郷三丁目』 駅出口から徒歩 4 分